

令和3年度 市長のタウンミーティング実施報告書

会場名	農村環境 改善センター	日時	10月13日(水)	19時00分より 20時30分まで	参加 者数	49名
市側の 出席者	市長 村椿 晃 企画部長、情報広報課長、企画政策課長	司会	情報広報課 宮野 浩一			

1. 市長談話

市長 村椿 晃 「新時代の魚津のまちづくり」を語ろう

第5次魚津市総合計画 ～ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津～

①魚津市の最近の話題

- 東京2020パラリンピック 魚津市から2人のメダリストが誕生！
- 新型コロナワクチン接種状況
- 魚津市財政健全化計画の進捗状況
 - ・基金繰入に頼らない持続可能な行財政運営の確立
 - ・緊急時に備えた貯金残高の確保
- 魚津市のふるさと納税の状況

②「第5次魚津市総合計画」について

- 総合計画紹介番組放映
「つくろう！魚津のまち～教えて！ソーゴーケーキ」12分38秒
- 魚津市の人口推移と将来人口
- 雇用の場づくり
 - ・魚津市大規模投資を伴う雇用拡大奨励金の創設
 - ・女性活躍社会推進事業
 - ・魚津の農林水産業体験・応援プロジェクト
 - ・6次産業化関連の取組
- 住宅対策
 - ・魚津市子育て新婚世帯住宅取得支援補助金の創設
 - ・居住誘導区域住宅取得支援補助金の創設
 - ・空家対策支援事業
- 子育て支援
 - ・切れ目のない子育て支援
 - ・子育て環境の整備（検討中）
- 健康づくり
 - ・高齢者の保健・介護予防の一体的事業
 - ・高齢者の生活支援の充実

③魚津市制施行70周年記念事業

- 魚津市制施行70周年記念事業シンボルマーク

2. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

○体験実習について

農業の体験実習をやっているとのことだが、水産業や林業についても担い手が減っている。体験実習をしたらどうか。

（村椿市長）

農業だけではなく水産業や林業に関する体験実習も含まれています。また、農業については果樹のほか米、野菜の農家体験も行っています。

○少子化について

なぜ少子高齢化になったのか？昭和の時代に国策でわざと少子化にしたからではないのか。九州で赤ちゃんポストというものがあつたが、魚津でも検討してはどうか。

（村椿市長）

若い人たちの働き方の変化などもあり非常に難しい問題ですが、若い方々が安心して子どもを産み育てて行きやすい社会にする必要があると思います。

また、子育てが大変でお母さんが追い込まれているケースもあると思います。魚津市では産後のケアをサポートする取り組みを昨年開始しました。しっかりニーズを聞きながら、誰かに頼れるシステムを作っていきたいと思います。

○公共交通機関について

朝日町で本格運用を開始した住民同士で助け合う公共交通サービス「ノッカルあさひまち」を魚津でも始めてほしい。

（村椿市長）

利用者の減少によりバスやタクシーなどの公共交通機関が成り立たないため、運転手も地域の人にお願ひして運用するのが「ノッカル」ですが、魚津市はまだその段階には達してはいないと思います。ただ魚津市もそのような状況になるかもしれないので、今後も勉強をしていきたいと思っています。

○人口問題について

人口問題について、滑川・黒部の両市に比べ減少率が高いのはなぜか。他市へ転出する市民についての分析はあるか。魚津は映画館などの娯楽施設が無い。子どももお年寄りも楽しめる街にしてほしい。

（村椿市長）

人口動態としては魚津市から富山市・滑川市に転出する人が多いです。黒部市との関係では以前ほど移動は見られません。原因としては住宅事情が考えられます。

魚津の魅力を高めるためには、従来の魚津の強みを変えずに活かせばよいのではないかと思います。そのためには民間の企業に店を出してもらったり、市もどうすれば伸びるか考える、このようなことが大事だと思います。

○降雪時の連絡体制について

冬季の積雪により道路に轍（わだち）ができてしまい立ち往生する車が続出した。このような場合に業者に直接連絡してもよいか。大雪時にいつ除雪車が来るかわからないので情報伝達をしっかりとしてほしい。

（村椿市長）

今年の大雪時は天気予報を信じて早めに除雪の指示を出したことにより他市町村よりは混乱は無かったと思います。しかし市内のある地区で業者の除雪車が動かなくなっていました。その地区の住民の方はなぜ除雪が来ないかわからない状態になっていたのも、市から町内会へ電話連絡を行い、除雪車が動くまで我慢することを納得してもらいました。

このように除雪においては業者や住民の皆さんへの連絡や情報伝達が重要であると考え、市ではこの冬に向けてその手順を再確認しています。

○労災病院横の空き地について

労災病院横の空き地はどうなるのか。

（村椿市長）

活用方法をしっかり考えていきたいと思いますが、労災病院の建て替えを行っていた頃は市の台所事情があまりにもひどかったため後回しとなっていました。魚津市財政健全化計画が進行して、財政状況が改善したところで活用案をお示ししたいのもうしばらくお時間をください。

○地域の活動について

農道や用水の草刈りをしているが、耕作放棄地や市の所有地も放っておけないので草刈りをした。何か市からの補助がないでしょうか。

（村椿市長）

この件については、どうやって地域の力を有効に活かす仕組みを作るかということだと思いますが、今後知恵を出して考えていきたいと思っています。

○公民館職員の雇用について

公民館の職員が数年前に会計年度任用職員になり、さらに公民館がコミュニティセンター化した後は地域雇用になるとのこと。コミュニティセンター化には賛成だが、地域雇用に変更になることは気になっている。

（村椿市長）

コミュニティセンターのことについては市でも議論を重ねました。先行している地区との差を無くすため、令和6年度からのコミュニティセンター化を決めました。

地域雇用については雇用形態の不安定化を心配されているのではないかと思います。人件費については市がしっかり面倒をみるつもりですので、信用していただきたいと思っています。そのうえで会計年度任用職員ではできなかった柔軟な働き方（出勤日・勤務時間）が可能になりますのでよろしくお願いします。

○水循環遺産について

水循環遺産を活かした環境整備について、電気自動車の整備など今考えていることを教えてください。

(村椿市長)

今はプランを作っている最中です。東山円筒分水槽から上流については洞杉までを視野に入れていきます。

電気自動車については以前環境省まで話を持って行ったのですが、管理方法が解決せずに導入を見送った経緯があります。今回のプランにおいても今の時代に合った電気自動車の活用方法視野に入れていきます。市役所だけでは実現できませんので地域の方と計画段階でお話しして実現したいと思います。

○農村環境改善センターについて

この農村環境改善センターについては、建てた時は将来加積公民館になる予定だった。コミュニティセンター化する場合はこの改善センターも入れてほしい。

(村椿市長)

おそらく農村環境改善センターは農林水産省の補助を受けて建設されたため何らかの縛りがあるのではないかと思います。どこかの段階でそれが無くなるのかななどを市の方でも調べていきたいと思います。